※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	（学）現代文	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「文学国語」（大修館書店）						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店），入試頻出漢字＋現代文重要語彙ＴＯＰ２５００（いいずな書店），錬成現代文（尚文出版），読解を深める現代文単語（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「現代文」では、文学的文章や随想を扱います。さまざまな時代や文化、多様な価値観に触れ、自分とは異なる境遇の登場人物に思いを遣り、多元的な視点を養いましょう。小説、詩歌においても論理的に読み解く力が求められます。感覚だけを頼りにするのではなく、論理的な文章と同様に論理的な思考、判断を欠かさないようにしましょう。
・新たに学習する文章は、必ず自分で読み、語句の意味を辞書で調べること。わからない箇所を明らかにして授業に臨んでください。指示語の確認や教科書に掲載されている「内容の理解」「ことばと表現」「語句と漢字」の課題に自分で取り組んでみましょう。授業では、考えたことや感じたことを積極的に表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。
・授業で扱った作品と同じ作家の作品、同じジャンルの作品、関心を持ったテーマについて主体的に調べたり、関連本を読んだりするなどして考えを深め、思考したことがらを的確な言葉で表現する力を身につけることに努めていきましょう。読書を通じて、自らの思考が深まり、新たな世界が開かれる喜びも味わってほしいと考えています。本校の図書館も大いに活用してください。
・１年生で学んだ基礎的な内容を踏まえ、さらに自らの学びを深め、思考したことがらを的確な言葉で表現する姿勢を身につけましょう。そのために、辞書等を活用し、積極的に自ら学ぶスタイルを確立するとともに、教員や友人の意見に真摯に耳を傾け、思考の幅を広げるよう努力しましょう。

２　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	小説① ・李徴の心情や境遇を理解する。 ［教材］ 中島敦「山月記」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 c：文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	随想・評論① ・幅広い視点で日本の言語文化の特徴をとらえる。 ・印象的に伝えるために構成を工夫する。 ［教材］ 多和田葉子「月の誤訳」 ［書く］構成を考えて書く	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[書]：読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c：作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	小説② ・作品を読み、「言葉」について自分の考えを明確にする。 ・小説の書かれた背景について知識をもつ。 ［教材］ 小川洋子「巨人の接待」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c：登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
後期	小説③ ・登場人物の心情理解をとおして、自己の生き方や他者とのかかわりを学ぶ。 ・本格的な小説を読み味わうことで、読解に必要な総合的な力をつける。 ［教材］ 夏目漱石「こころ」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

※令和４年度以降入学生用

	詩歌① ・詩の表現世界を通して、作者の心情を読み取る。 ・心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。 ［教材］ 宮沢賢治「永訣の朝」 ［書く］心情を描写する	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c：韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	随想・評論② ・日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 ・日本の伝統的な価値観やその変化について考える。 ［教材］ 川端康成「陰翳礼讃」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c：筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深めようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　）時間

・書くこと　…　（　８　）時間

・読むこと　…　（　２７　）時間